

【漁況】 [マアジ]

1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマアジの漁獲量は、昭和40年の53万トンにピークに減少傾向となり、昭和55年には5万4千トンとなりました。その後増加傾向に転じ、平成8年には33万トンまで増加し、30万トン台を維持しながら、平成9年は32万3千トン、平成10年は31万1千トンでした。しかし、平成11年には大きく減少し21万1千トンとなり、平成12年は24万2千トン(速報値)でした。

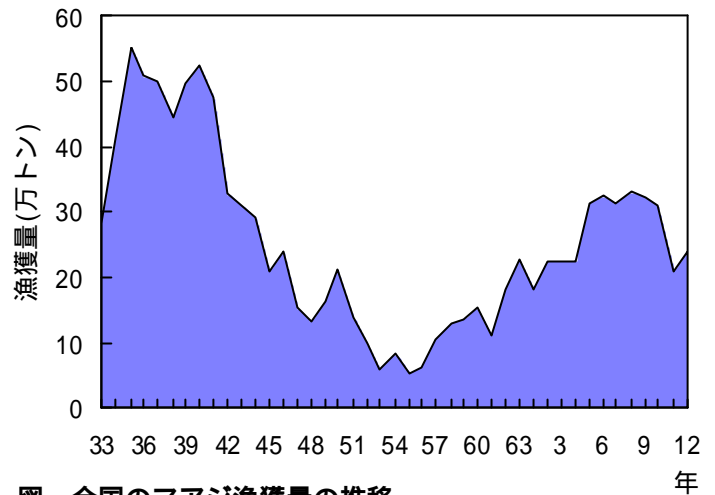


図 全国のマアジ漁獲量の推移

2. 平成13年10～12月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、阿久根・川内・串木野沖(10～12月)、甌周辺(10・11月)に、薩南海域では、野間池沖(10月)、枕崎・開聞沖(11・12月)に漁場が形成されました。

4港計では、アジ仔・豆アジ(平成13年生まれ)主体に471トンの水揚げで、11月は、前年を上回りましたが、全般に低調に推移し、前年の54%及び平年の20%でした。

3. 平成14年1～3月期の見とおし

漁獲の主体は、豆アジ(1歳魚・平成13年生まれ)で、来遊量は前年並みで、平年を下回るでしょう。

(根 拠)

主漁獲対象となる平成13年生まれ群は、低水準ながら平成12年生まれ群より大きいと考えられませんが、前期の漁況の経過から判断しました。

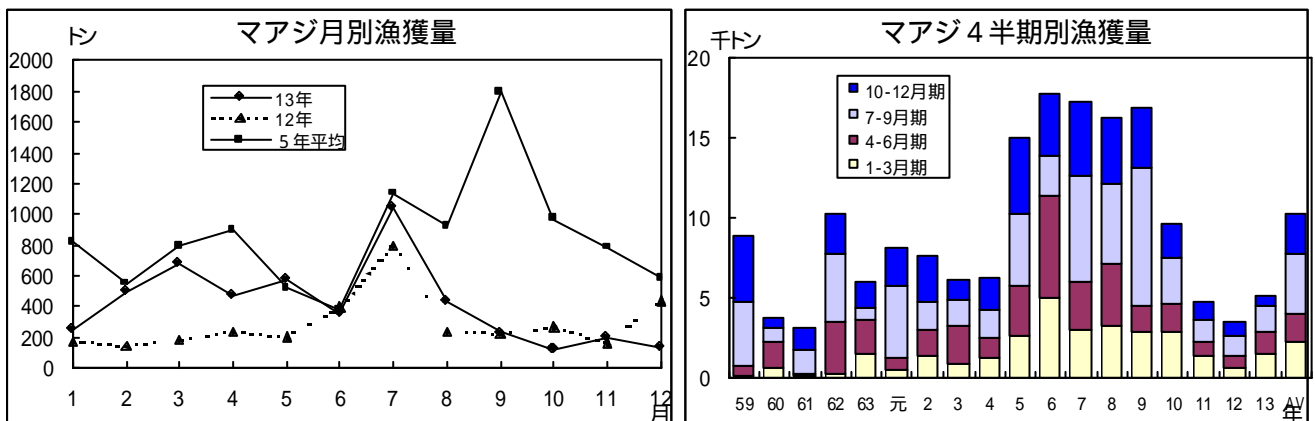


図 マアジ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年(平成8～12年)の平均値,平成13年12月は26日までの水揚量を使用。

[サバ類]

1. 漁獲量の動向（農林統計）

サバ類の漁獲量は、昭和53年の160万トンにピークにマサバ資源水準の低下により年々減少し、昭和57年には72万トンとなりました。その後は、ゴマサバの増加により大幅な漁獲量の減少は見られませんでした。昭和63年以降はゴマサバの資源水準も低下したため、サバ類の漁獲量は大きく減少し、平成3年には26万トンとなりました。その後、増加傾向に転じ平成9年は84万9千トンとなりましたが、再び減少傾向となり平成12年は33万3千トン(速報値)でした。

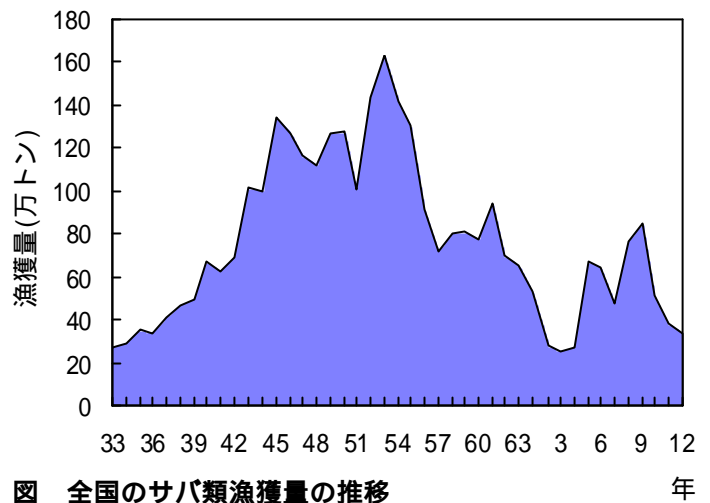


図 全国のサバ類漁獲量の推移

2. 平成13年10～12月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、甕周辺(10～12月)に、薩南海域では、野間池沖(10月)、内之浦沖(11～12月)、宇治群島周辺(11月)等に漁場が形成されました。

4港計では、11月は中サバ、12月は大サバ(平成11年生まれと考えられる)主体に1203トンの水揚げで、11、12月は前年・平年を上回りましたが、前年の70%及び平年の38%と低調に推移しました。

3. 平成14年1～3月期の見とおし

漁獲の主体は中～大サバ(3歳魚・平成11年生まれ)で、来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

(根拠)

平成11年生まれ群は多くは漁獲されないと考えられます。また、平成13年生まれ群・平成12年生まれ群ともに加入は低水準と考えられます。

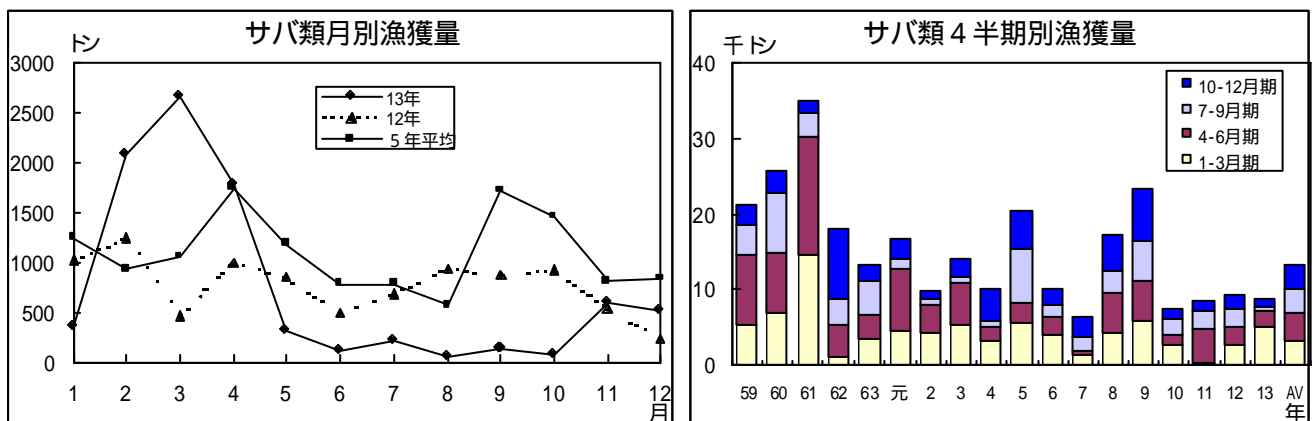


図 サバ類漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年(平成8～12年)の平均値,平成13年12月は26日までの水揚量を使用。

[マイワシ]

1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマイワシの漁獲量は，昭和30年代から40年代にかけての不漁期の後，昭和48年頃から増加の傾向が見られ，昭和63年には449万トンまで増加しました。しかし，平成元年から三陸沖を中心に漁獲量が減少し始め，その後もマイワシの若齢魚の減少等により，全国的に漁獲量は減少を続け，平成7年には66万トンとなり，平成10年は16万7千トンとなりました。平成11年は35万1千トン，平成12年は15万8千トン(速報値)でした。

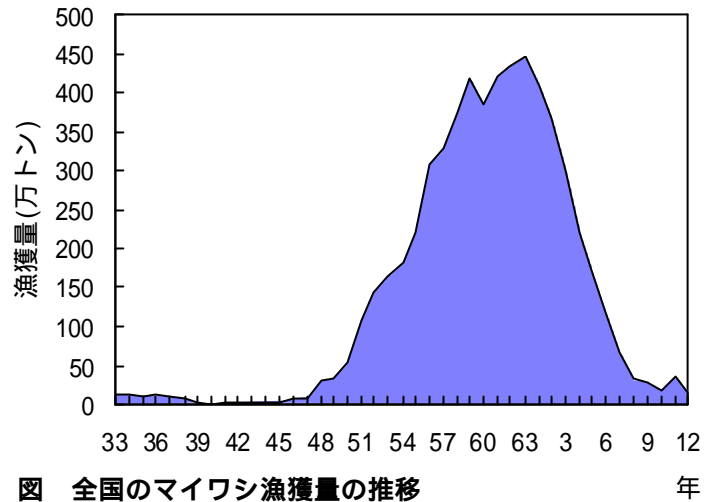


図 全国のマイワシ漁獲量の推移

2. 平成13年10～12月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

薩南海域の枕崎・開聞沖(10月)で漁獲がありました。

4港計では，0.5トンの水揚げで前年の10%でした。

3. 平成14年1～3月期の見とおし

漁獲の主体は中羽イワシ(1歳魚・平成13年生まれ)で，来遊量は前年を下回るでしょう。

(根拠)

マイワシの資源状態は低水準にあり，前期の漁獲状況から低調に推移すると考えられます。

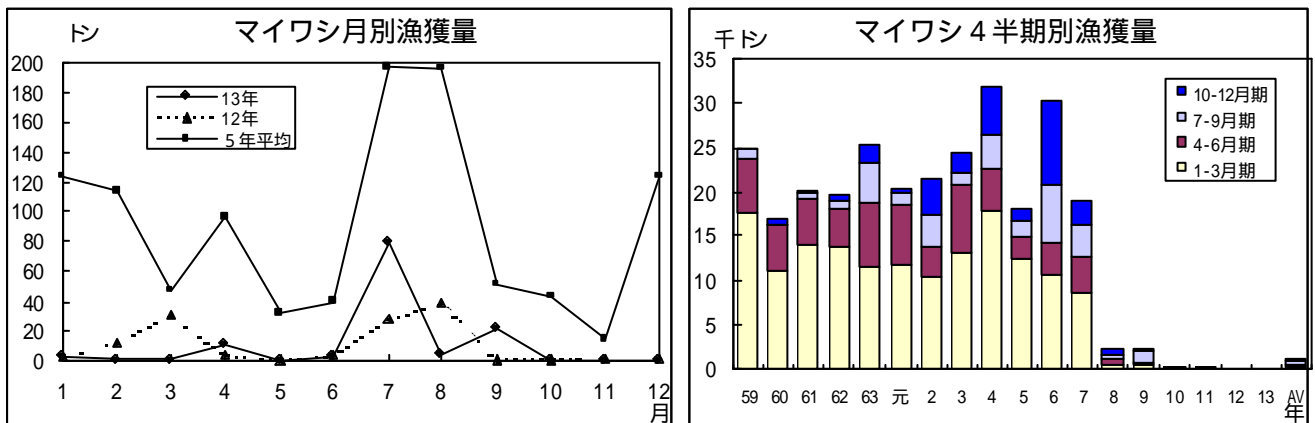


図 マイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成8～12年）の平均値，平成13年12月は26日までの水揚量を使用。

[ウルメイワシ]

1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のウルメイワシの漁獲量は、昭和30年代後半から40年代前半にかけて3万トン前後で推移していましたが、昭和46年から54年まで5万トン前後で推移しました。昭和55年以降、漁獲量は減少し昭和60年には3万トンとなりましたが、その後増減を繰り返しながら、増加傾向を示し、平成6年に6万8千トンとなりました。その後減少傾向に転じ、平成9年は5万5千トン、平成11年は2万9千トン、平成12年は2万6千トン（速報値）でした。

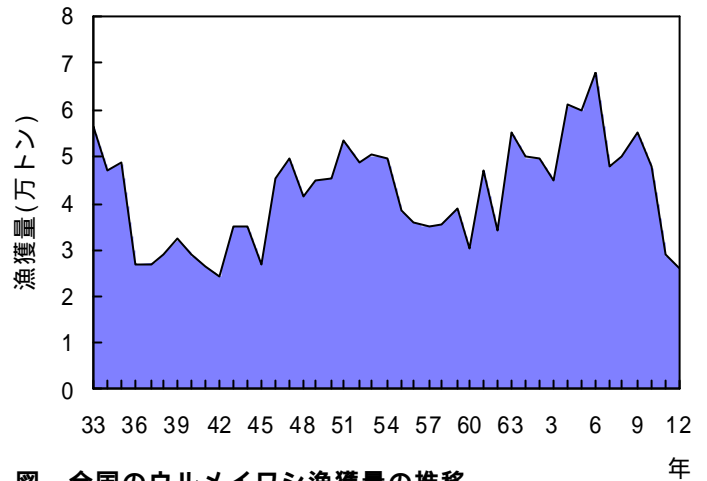


図 全国のウルメイワシ漁獲量の推移

2. 平成13年10～12月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、甕島周辺(10～12月)に、薩南海域では、枕崎・開聞沖(10～12月)、佐多岬沖(12月)で漁獲がありました。

4港計では、583トンの水揚げで、すべての月で前年を上回り、平年を下回りました。前年の149%及び平年の38%でした。

3. 平成14年1～3月期の見とおし

漁獲の主体は中～大羽ウルメ(1歳魚・平成13年生まれ)で、来遊量は前年を上回り、平年を下回るでしょう。

(根 拠)

前期の漁獲状況から主漁獲対象となる平成13年生まれ群は比較的高水準と考えられます。

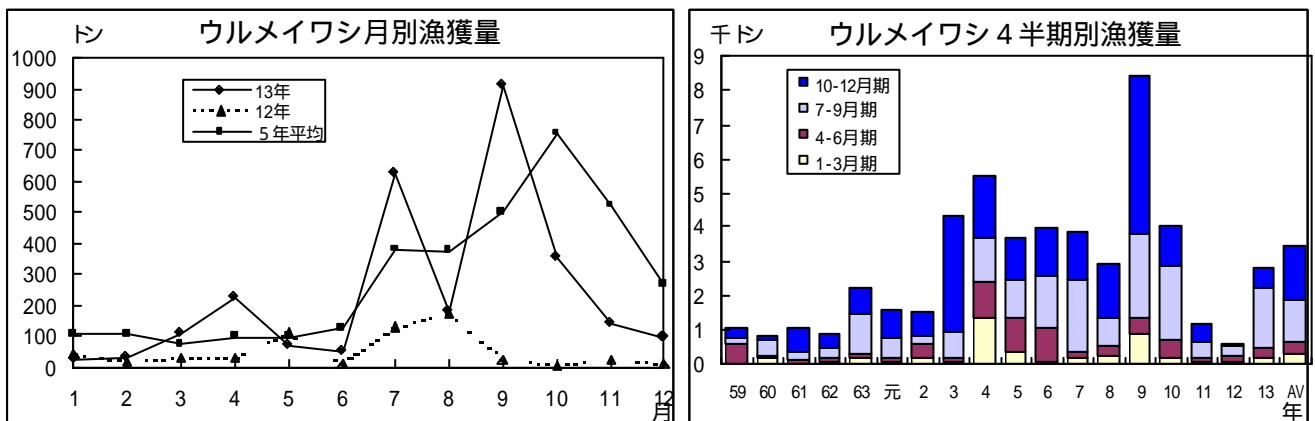


図 ウルメイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成8～12年）の平均値，平成13年12月は26日までの水揚量を使用。

[カタクチイワシ]

1. 漁獲量の動向（農林統計）

カタクチイワシの漁獲量は、昭和48年まで30万トン台で変動していましたが、昭和49年以降減少傾向となり昭和54年には13万トンとなりました。その後、徐々に漁獲量は増加し昭和59年には22万トンとなりましたが、昭和62年には再び14万トンまで減少しました。昭和63年以降は大きく増減を繰り返し平成9年は23万3千トン、平成10年は47万トン、平成11年は過去最高の48万トンとなりました。平成12年は37万トン(速報値)でした。

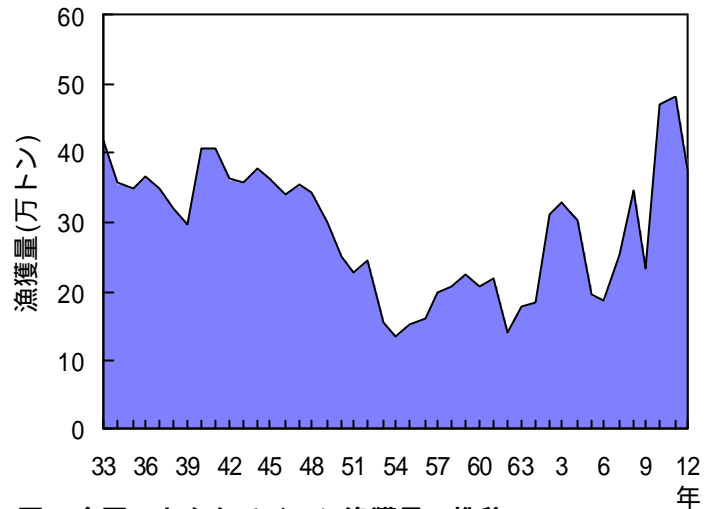


図 全国のカタクチイワシ漁獲量の推移

2. 平成13年10～12月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

まき網による漁獲は、全くありませんでした。

3. 平成14年1～3月期の見とおし

漁獲の主体は中羽カタクチで、来遊量は低調な前年並みで、平年を下回るでしょう。（根拠）

近年の漁獲量は高水準で推移していますが、月により漁獲量のばらつきが大きく、減少傾向にあります。前期の漁況の経過や棒受網の状況からも低調に推移すると考えられます。

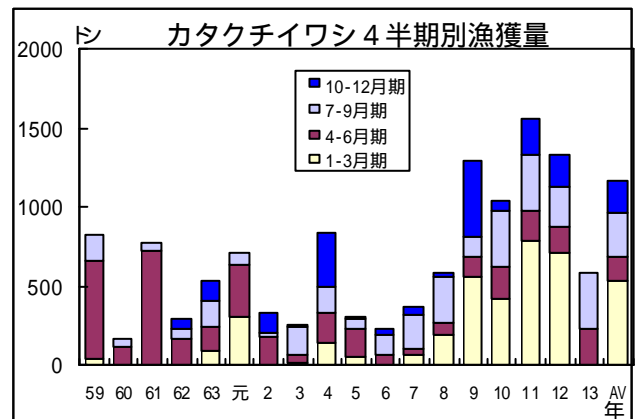
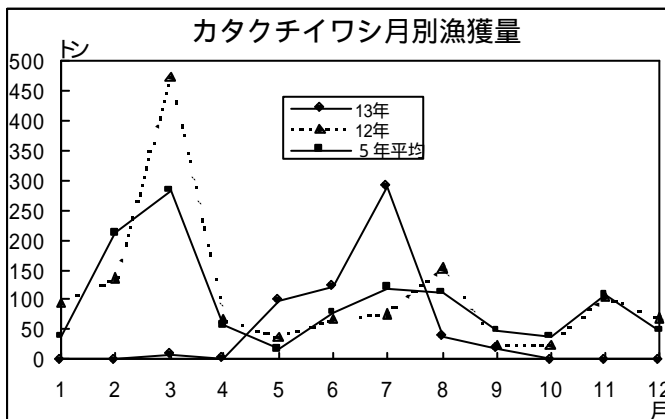


図 カタクチイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成8～12年）の平均値，平成13年12月は26日までの水揚量を使用。

[その他の魚種]

ムロアジ類 (4 港計)

1. 経年変化及び平成13年10～12月期の漁況の経過

ムロアジ類の漁獲量は、平成2年の21,700トンピークに減少傾向を示し、平成8年は3,108トン、平成9年はやや増加し3,853トン、平成10年は3,819トン、平成11年は2,299トンと減少し、平成12年は、昭和58年以降最低の1,819トンとなりました。

主に薩南海域で漁獲があり、10～12月期全体では1,813トンの水揚げで前年の262%及び平年の124%でした。

2. 平成14年1～3月期の見とおし

来遊量は前年・平年を上回るでしょう。

オアカムロ (4 港計)

1. 経年変化及び平成13年10～12月期の漁況の経過

オアカムロの漁獲量は、平成元年の5,300トンピークに減少し、平成6年には1,823トンとなりましたが、その後は増加傾向となり、平成10年は3,413トン、平成11年は減少し2,076トン、平成12年は2,483トンとなりました。

主に薩南海域で漁獲があり、10～12月期全体では573トンの水揚げで前年の82%及び平年の73%でした。

2. 平成14年1～3月期の見とおし

来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

マルアジ (アオアジ) (4 港計)

1. 経年変化及び平成13年10～12月期の漁況の経過

マルアジの漁獲量は、平成2年以降低調に推移しましたが、平成7年には1,430トンに増加し、平成8年は1,083トン、平成9年は684トンと減少しましたが、平成10年は1,062トン、平成11年は再び減少し639トンでした。平成12年は、12年生まれ群の加入が順調で、1,867トンに増加しました。

主に北薩海域で漁獲があり、10～12月期全体では557トンの水揚げで前年の39%及び平年の96%でした。

2. 平成14年1～3月期の見とおし

来遊量は前年を下回り、平年を上回るでしょう。

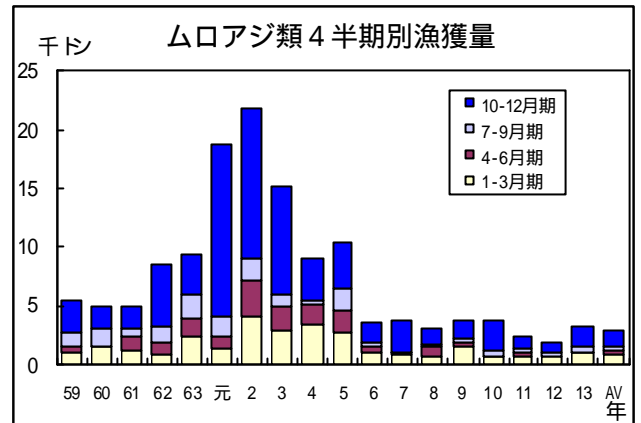
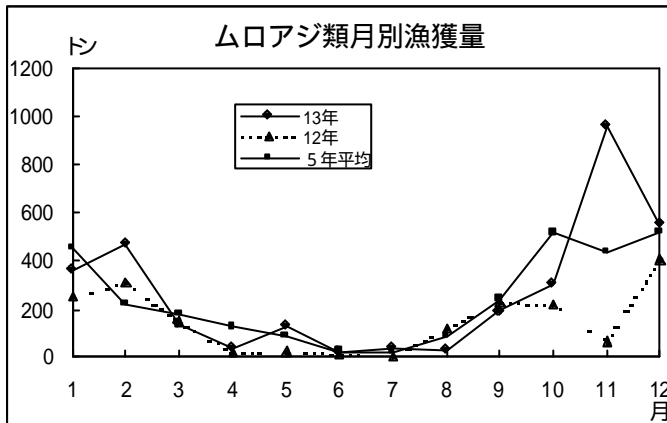


図 ムロアジ類漁獲量変化(4港計)

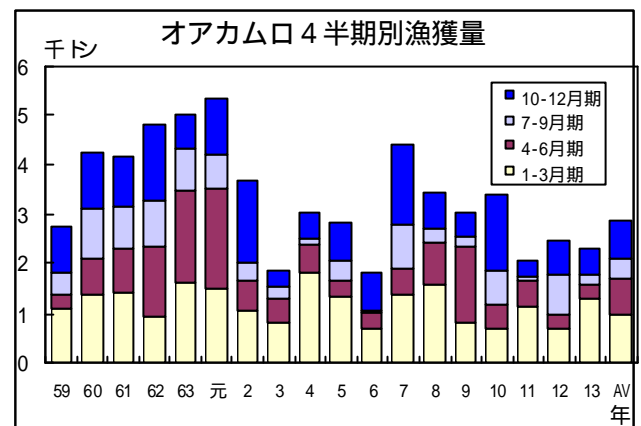
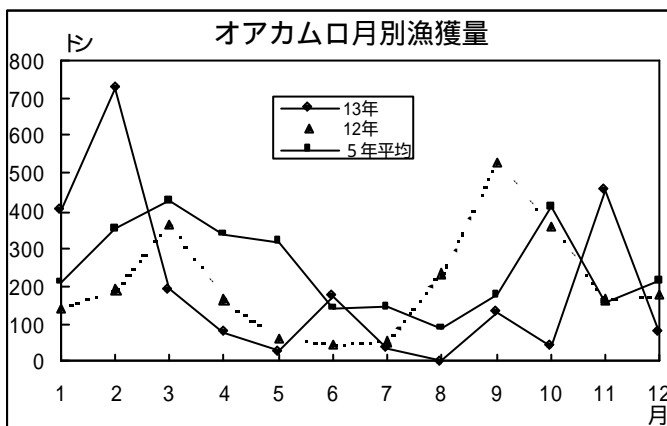


図 オアカム口漁獲量変化(4港計)

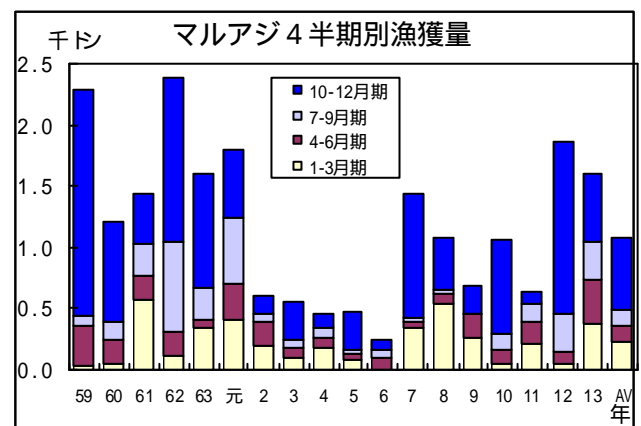
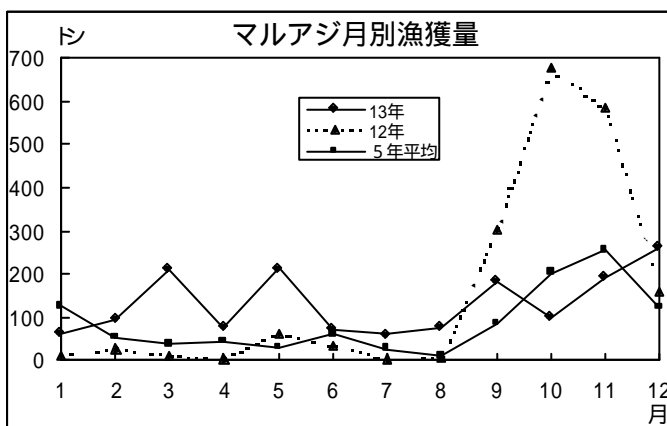


図 マルアジ(アオアジ)漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年(平成8~12年)の平均値,平成13年12月は26日までの水揚量を使用。